

# 彩の国さいたま人づくり広域連合 研修紹介（平成29年度新規研修）

## 「グローバルマインド養成」（県・市町村共同）

### 「ゲームで学ぶ・自治体経営シミュレーション ～公共政策の創造・発展に向けて～」（市町村）

#### 1 はじめに

彩の国さいたま人づくり広域連合では、自治体の仕事に誇りを持ち、地域社会と真摯に向き合い、明日の地方自治を担う人材を育成するため、公務員に求められる基本的知識の習得、分権型社会に求められる能力の向上、変化を捉えて対応する力の獲得などをねらいとした様々な研修を実施しております。

とりわけ、超少子高齢化・人口減少社会の本格的な到来、グローバル化の進展、地方自治制度の改革など自治体を取り巻く環境が大きく変化する中で、職員の専門性を高めることは必至となっております。

そこで、当広域連合では、多様化する行政ニーズに対応するべく時代の潮流を捉えるカリキュラムを検討し、現在職員に求められている専門的なスキルの習得を目的とした研修を平成29年度も新設しました。

今年度、新規開設した研修のうち、専門力の向上を目的とした研修を御紹介します。

#### 2 グローバルマインド養成（県・市町村共同）について

埼玉県は、2019年に「ラグビーワールドカップ」、2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」という国際的なイベントを控えており、県内市町村にも多くの観光客や関係者などの外国人が訪れることが見込まれています。また、観光客だけでなく、日本に定住または長期滞在している在留外国人はリーマンショックの影響などにより一時期減少傾向にあったものの、2013年以降増加傾向が続き、

2015年・2016年には2年連続で過去最高を更新しています。

そのような状況を受け、県・市町村の職員がグローバルな視点と幅広い価値観を身に付け、それぞれの自治体で活躍できるよう、外国人対応力及び施策立案力の向上を目的とし、平成29年度の新規研修として主事主任級の職員を対象に「グローバルマインド養成」研修を実施することになりました。

1日目の研修では、まず研修生自身が日本及び埼玉県を取り巻く国際的な状況について現状をどれほど把握しているか認識するため、自己診断テストを実施し、それぞれの情報感度について確認しました。

続いて、講師より、在留外国人の増加傾向が近年続いている理由について講義がなされました。研修生によっては、肌感覚で既に各自自治体における外国人数の増加を感じている方々もいましたが、国際経済の状況や為替レートの変動がその数に大きく影響しているとの講師の説明は、国際的な感覚を養うために大きな示唆を与えるものでした。

その後、「日本（人）と外国（人）で異なるもの・異なること」をテーマにグループワークが行われました。バックパッカーとして30カ国以上外国を回ったことのある方や過去に海外勤務を経験している方、逆にほとんど海外旅行の経験がない方など、様々なバックグラウンドを持つ研修生が参加していましたが、活発なグループワークにより相互啓発が図られました。

研修2日目は、訪日外国人や在留外国人に対する施策立案をテーマにグループワークが行われました。所属団体に実施されている施策をそれぞれ持ち寄り、

それをもとに課題や解決策、そしてより良い施策にするための提案などが議論されました。県職員・市町村職員のそれぞれの視点から様々な意見が出され、非常に白熱した時間になりました。

また、講師からは全国の自治体や民間企業等における外国人対応の先進施策や、アメリカと日本の危機管理への意識の違いなど、それぞれの自治体で今後政策を形成していくにあたり参考になる事例などが紹介されました。

本研修を受講した研修生からは、「経済や人口の面において、職員に限らず日本人としてグローバルマインドを養っていくべき時期になってきていることを痛感しました。」「幅広い視点で様々な知識を得ることができました。多文化共生の意味と必要性を感じ業務に生かしたいと思いました。」など、参考になったという意見が多く寄せられました。

本研修で学ぶことのできる、広い視野と多様性への深い理解は、外国人対応の場面のみならず、今後各自治体が直面すると思われる様々な問題を解決するための一助になると確信しております。当広域連合では、本研修を来年度も引き続き実施していきます。ぜひ御活用ください。

### ○カリキュラム

日程	内容
1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域国際化の現状と分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域国際化の経緯と現状</li> <li>・在留外国人はなぜ増え続けるのか</li> </ul> </li> <li>○国際交流拠点の形成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流拠点形成のための環境づくり</li> </ul> </li> <li>○異文化とのコミュニケーション               <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化に直面した場合の日本人の問題点</li> <li>・日本人の意識構造・価値観</li> <li>・食・歴史・宗教と文化の関係</li> </ul> </li> </ul>

2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本と外国の思考技術の違い               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国が注目する日本の対応</li> </ul> </li> <li>○世界を理解する能力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己認識・外国の知識・語学能力など共生のための地域国際政策の構築</li> <li>・外国籍住民に対する施策・各自治体の取組</li> <li>・諸外国における外国籍住民に対する政策</li> </ul> </li> <li>○地域にマッチした独自の国際政策づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍住民と共生する地域づくり</li> </ul> </li> <li>○まとめ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生の地域づくりと自治体の役割</li> </ul> </li> </ul>
-----	---

### 3 ゲームで学ぶ・自治体経営シミュレーション～公共政策の創造・発展に向けて～（市町村）について

戦後に生まれた団塊の世代が高齢化し、日本の社会構造は大きな変化が起こりつつあります。今後の人口減少社会における『右肩下がり予算』によって生じる問題を認識するとともに、『将来を見据えた事業計画』の必要性を理解することが、これからの市町村の運営にとって必要となっています。

それを理解するための効果的な研修方法として、当広域連合では、『SIM2030』という自治体経営シミュレーションゲームを活用した研修を実施しました。

研修は、9時から16時半の日程で行われ、午前中は講師による講義を行い、午後、グループに分かれ、ゲーム『SIM2030』を実施しました。

午前中の講義は、変わりつつある現状を認識するとともに、これからの公共政策の創造・発展に向けた視野の拡大を目指すため、元東京都副知事を務められた青山侑講師に御登壇を頂きました。

青山講師には、講師が実際に訪れた海外の事例や都庁職員時代の実体験を取り上げながら、今後求められる行政の役割について御講義頂きました。経験豊富で、現在も海外視察など精力的な活動を続けられている青山講師の講義は、研修生の興味を引くと

ともに、行政に関する視野を拡大する内容でした。

午後は、自治体経営シミュレーションゲーム「SIM2030」を使ったグループワークを行いました。

初めて触れるゲームで、最初は手探り状態でしたが、徐々に活発な意見交換が行われ、非常に活気にあふれた研修となりました。自分たちで解決策を考えながら話し合い、取り組んでいくゲームは、一般的な講義やワーク以上の効果が得られるように感じられます。

短時間でのルール・設定の理解に時間がかかる等、今後の研修に向けた課題は見受けられますが、自団体に持ち帰り、研修に活用したいという研修生もあり、研修受講生だけでなく、更なる広がりが期待できる研修となりました。

当広域連合では、次年度も引き続き同研修を実施し、これからの公共政策の創造・発展に向けた視野を持つ次代のリーダーを育成し、各団体の躍進の一助となるよう努めてまいります。

**SIM2030とは？**

- 熊本県庁の自主研修グループ「くまもとSMILEネット」が開発した対話型自治体経営シミュレーション。
- プレイヤーは、架空の市の部長となり、迫る課題に対し、何の予算を残し、何の予算を削るか、他の部長と対話を通じて判断を下します。
- 限られた時間と予算の中で下した判断が、まちの未来をどのように変えていくのか。

楽しみながら自治体経営を体験できます。

研修で使用したスライド①

**説明(公共施設の老朽化、政策的経費の減少)**

過去に建設された公共施設等が、大量に更新時期を迎える。

「公共施設等総合管理計画」を策定して、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設の最適化を進めているが...

⇒費用負担は増加していく。

**「公共施設の維持更新費用の増加」、  
「社会保障関係経費の増加」、  
「税収も減少」するため、  
更なる財政健全化の取組を行わなければ、  
政策的経費に使える財源は減少！**

研修で使用したスライド②

**説明(公共施設の老朽化、政策的経費の減少)**

過去に建設された公共施設等が、大量に更新時期を迎える。

「公共施設等総合管理計画」を策定して、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設の最適化を進めているが...

⇒費用負担は増加していく。

**「公共施設の維持更新費用の増加」、  
「社会保障関係経費の増加」、  
「税収も減少」するため、  
更なる財政健全化の取組を行わなければ、  
政策的経費に使える財源は減少！**

研修で使用したスライド③

## ○カリキュラム

日程	内容
午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体経営と公共政策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体経営とは</li> <li>・公共政策とは</li> </ul> </li> <li>○現代における自治体の重要性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化と行政の役割</li> <li>・地方自治の歴史と考え方</li> <li>・欧米の自治体と日本の自治体</li> </ul> </li> <li>○市場化と公共関与の問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相次ぐ市場の失敗</li> <li>・市場に対して公共がどう関与するか</li> </ul> </li> <li>○NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）とガバナンス <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPM（新しい行政経営）</li> <li>・公平性と格差</li> <li>・公共政策</li> </ul> </li> </ul>

	<p>○市民の役割、行政の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ガバナンスとは</li> <li>・現代社会の諸問題と自治体の役割</li> <li>・経済社会のグローバル化と市民や行政の関与</li> </ul>
午後	<p>○自治体経営シミュレーションゲーム (SIM2030)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれ、架空の自治体経営を行うシミュレーションゲームを実施</li> <li>・演習後、振り返り・まとめ</li> </ul>